



# 図書館短歌入賞作品

2023



1位. ふくらんだパン生地のように優しくて こどもの借りた本は愛しい (あさのつき)

2位. 図書館の静かの海に漬かりきる 時がたつのも気づかぬままに(本の虫)

「絶版の本の届いた図書館へ 向かう歩幅が広がってゆく」 ←本の虫さんが作られたこちらの短歌が「長谷川麟賞」を受賞しました

3位. 「返すだけ」「すこし見るだけ」足止まる。気づいたときは「借りて」「読んでる」(A.K)

4位. 検索し番号棚に行ったけど 見つけきれずにスタッフにきく (奇数ぐうすう)

5位. すうすうと寝息がきこえた 5 ページ目 ここからだけとおもしろいのは (胸一杯太郎)

投票数の多かった順に掲載しております。投票へのご参加ありがとうございました♪

長谷川麟賞:歌人の長谷川麟さんの投票枠が一番多かった作品で著書「延長戦」を贈られました

筑後市立図書館